



相木秀則 (名古屋大学 宇宙地球環境研究所 准教授)

Hidenori Aiki (Associate Professor Ph. D.)

研究所共同館1-731号室 <http://researchmap.jp/aikihidenori/>

本学の理学部数学科出身です。学部時代に漕艇部の練習で中川区の庄内川河口に通いつめた縁で、海洋の研究者を志しました。これまでは、海洋研究開発機構にて海流の数値シミュレーション、全球の各種波動の解析、大気海洋境界層の理論研究を行ってきました。その間、JSPS海外特別研究員としてハワイ大学に2年間赴任しました。

帰国後から「大気・海洋・波浪結合モデル」の開発を、気象学研究室と協力して進め、台風のような顕著現象における海洋の役割の解明を目指してきました。波浪(海面の風波やうねり)モデルを組み入れたのは、大気・海洋間の交換量の物理的整合性を高めることが目的で、世界最先端の研究の一つです。これからは、海洋生態系・光学モデルの導入や衛星観測との照合研究を充実させ、海洋圏モデルを軸に多圏結合モデルの共同開発・利用を推進し、発展途上国の自然環境・災害問題の監視・予測に貢献します。

並行して、海洋と大気の波動全般の解析研究を進めます。特に赤道域の海洋は「波動現象の宝庫」と呼ばれ、ケルビン波やロスビー波が、太平洋のエルニーニョ現象やインド洋ダイポールモード現象のような熱帯の気候変動において重要な役割を担います。しかしそのエネルギー伝達経路を同定するには理論的に未解明な部分がありました。この問題を世界に先駆けて解決し、現象のメカニズムを明らかにしていきたいと思えます。

